

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 6月29日 更新

事務事業名		消防施設維持管理事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連		<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連		<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合 計画 体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり					所属部	総務部	課長名	中島 正剛	
	施策	1	危機管理・防災対策の推進					所属課	総務課	担当者名	田代純児	
	基本事業	1	災害の未然防止対策					所属班	交通防災班	(内線)	1215	
予算科目	会計 一般	款 9	項 1	目 3	事業連番 10009	法令 根拠	消防法			成果優先度評価結果 ⑤		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	(開始年度 ~ 年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度				

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】 (開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	・設置している消火栓、防火水槽、ホース格納庫、標識等の修繕、取替えを行う。 ・消防水利の設置及び区が設置した消防水利が市に移管されてからの管理。
【業務の流れ】	・県及び消防署・区等からの連絡において現地確認を行う。業者への発注、検査、支払い。
【主な予算費目】	・需用費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	・土地所有者から、個人の宅地に設置している消防水利を撤去して欲しいとの要望が増えつつある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標 ①手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動) (DO)	新規・拡充区分 24年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
・老朽化している防火水槽補水管修繕及び防火水槽蓋設置 ・防火水槽撤去工事(黒石原地区・新開地区) 2箇所	・南須屋地区、新古閑地区の防火水槽の撤去 ・永江団地、黒石団地防火水槽修理
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ア:修繕を行った消防施設の箇所数 イ:	(単位) 予算の主な増減の理由 箇所 ・防火水槽撤去による増
②対象指標(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 ・消防水利	(単位) ②対象指標(対象の大きさを表す指標) 箇所 ア:市内の消防水利数 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・災害時に使用ができるよう、適正な状態を保つ。	(単位) ③成果指標(意図の達成度を表す指標) 箇所 ア:修繕が必要となった消防施設の箇所数 イ:
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠 ・災害時に適切な状態を保つ為、防火水槽及び補水管・消火栓の修繕を行う。	総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移			単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込
① 活動指標	ア イ	箇所		0	0	5	4	5	5	5	5
② 対象指標	ア イ	箇所		0	0	810	809	815	0	0	0
③ 成果指標	ア イ	箇所		8	0	5	4	5	5	5	5
投 入 量	事 業 費 額 内 訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円								
		(A) 事業費計	千円	0	483	2,500	2,848	4,000	4,000	4,000	4,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外・特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人 件 費	正規職員従事人数 延べ業務時間	人 時間	0	4	0	4	4	4	4	4
		(B)人件費計	千円	0	782	0	767	782	782	782	782
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	1,265	2,500	3,615	4,782	4,782	4,782	4,782

事務事業名	消防施設維持管理事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (S E E)

*原則は23年度の事後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因是？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因 ↗】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由 ↗】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策 ↗】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由 ↗】 ・消防団、地域での維持管理を適切に行うことで、修繕の件数が減り、向上の余地がある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由 ↗】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由 ↗】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由 ↗】 ・他に類似事業がない	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由 ↗】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】 ・修繕のみについての経費であり、削減の余地はない	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】 ・修繕に対応するための事務であり、削減の余地はない。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】 ・市内全域にわたる消防水利の修繕に要する経費であり、公平である。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由 ↗】
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由 ↗】

Digitized by srujanika@gmail.com

- ## 4 今後の方針性（事務事業担当課案）（P L A N）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善（有効性改善）
事業のやり方改善（効率性改善） 事業のやり方改善（公平性改善）
現状維持（従来通り特に改善改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)			
		コスト	
		削減	維持
成 果	向上	○	
	維持		＼

- (3) 改革・改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策